

福岡未来創造プラットフォームは、加盟機関の組織の垣根を越えたプロジェクトチームの主催による、大学や地域の未来の発展を見据えた、知的・人的交流の促進、地域の活性化、まちづくり、人材育成等に資する自主的な活動を資金面・広報面から支援する事業「福岡よか未来プロジェクト」を立ち上げました。

■助成型プロジェクト(活動資金+広報支援)

■認定型プロジェクト(広報支援)

前期に2件を助成型プロジェクトとして採択しましたので、ご紹介いたします。

※福岡未来創造プラットフォームに加盟している17機関はこちら。(2つ以上の加盟機関の教職員がメンバーであることが条件)
九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫学園大学、中村学園大学、日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡工業大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、福岡市、福岡商工会議所、福岡中小企業経営者協会

助成型

プロジェクト採択2件目

①プロジェクト名:

「“樋井川村”の市民普請～できるんだからやっちゃおう地域で小さな公共事業～」

②メンバー:プラットフォーム内の3つの大学関係者を中心に14名で構成

福岡大学(代表者:工学部 伊豫岡宏樹助教)
九州産業大学
西南学院大学
株式会社樋井川村
民間企業、NPO法人、一般財団法人、社会福祉法人

③目的:

行政区分ではなく、地形や自然のシステムに基づいた河川や河川に水が集まる範囲である流域という概念の基で地域を認識し、その魅力を高める公共的提案について、市民主導で進めるシステムを計画・実施していくことで、地域の魅力を向上すると同時に、失われつつあるつながりを再生すること。

④内容:

流域内の公共空間の有効利用について、地域住民で提案・実行していく。草刈りなどの簡易な管理で人々の利用が促進される場所の抽出を行ない、地域が利用しやすいような空間を検討。住民の有志による実際のオープンな空間づくり。屋外活動の専門家を招いた空間有効活用のためのイベントなど。

